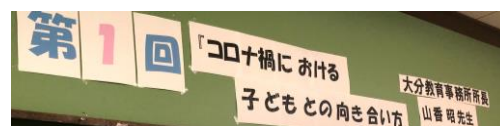


今年度も 大分市立城南小学校 PTA 家庭教育学級 「katete (かてて)」で学びました(前編)



6月3日(金) OBSのニュース番組「強制しないPTAへ見直し進む」の中で、大分市立城南小学校PTAの先進的な実践が大きく取り上げられていました。そのような、主体的に参加される皆さんと共に、今回も有意義な時間を過ごすことができ、私も多くのことを学ばせていただきました！！

ほめると傾聴 ほめほめ中級編とコーチング

前半は、よく教室で子ども達を考える、「言われて嬉しい言葉」と「言われたくない、聞きたくない言葉」について出しました。



ほめ言葉、言われて嬉しい言葉 (保護者編) ありがとう、うれしい、こんにちは、いいね、最高、やさしいね、来て、ここにいて、一緒、同じ、おはよう、おやすみ、ごちそうさま、いただきます、おいしいね、楽しい、

神っている、バズる、はやい、丁寧、笑顔、上手、うまい、きれい、頼りになる、任せたら安心、さすが、すごいね、一緒にいると楽しい、すてきだね、また会いたい、好き、大好き、助かった、助かる、ママがいい、(服とか) 似合っている、頑張ったね、頑張っているよね、よくできるね、かわいい、おもしろい、お疲れ様、いつてらっしゃい、おかえり、あったかい、ちょうど良い、お母さん、よくなりました、痛くないよ、楽しかったよ、またしたいな、ごはん少ないよ、おかわり、歌うまいね、若く見えるよ、おめでとう、また来ます、かっこいい、ママのご飯最高！、気が利く、素晴らしい、ステキ、子どもの事考えてますね、あそぼー！おしゃれだね、料理上手だね、器用だね、また食べたい、上手、またつくって、一緒にやろうよ、きいてー、うまっ！、名人、カリスマ、頼りにしている、ooさーん(探されている時)、お願いしてもイイ、待っているヨ！また来てね、また遊ぼうネ、また連絡するー！

↑「言われて嬉しい言葉を3分間でなるべく多く書こう！」一番多かった方は25個。素晴らしいです

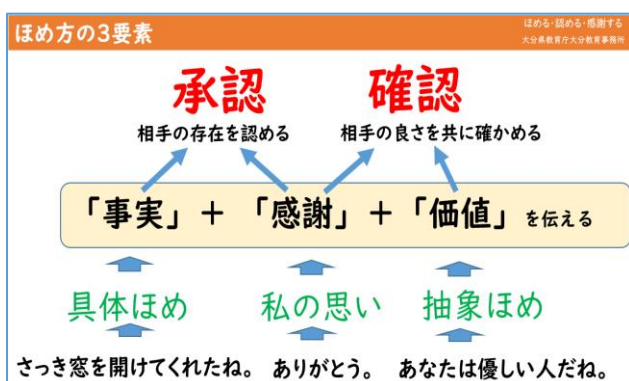
言われたくない、聞きたくない言葉 (保護者編) サイテー、きらい、あっちにいて、よだきい、ウザ

い、溺愛、わからん、しない、意味がわからん、無言、だから何、ふーん、だめ、無理、嫌い、死ね、うるさい、ばか、だめやなあ、ばかやなあ、なにやってるん、何もせんで、あーあ、頭悪いね、要領わるい、なんもできんな、何回も言ったやろ、しらん、またしよん、やめなさい、いつもと同じ

これを見ると、大人も子どもも同じですね。学校でも家庭でも、ほめ言葉を多用したいですね。

ほめ方の3要素

「ほめる」とは、おべっかや相手をコントロールするために行うものではありません。相手の価値を発見して、その価値を伝えることで、相手の存在を認め【承認】、相手の良さを共に確かめる【確認】ことを通して、相手の成長へとつなげるために行うものと私は考えます。



「窓を開けてくれた」という、その子が行った具体的な事実を「ありがとう」という感謝の気持ちを添えて伝えることで、その子は自分の存在意義を感じます。さらに、「優しい人」という価値を伝えると、自分の良さに気がつきます。これから、多くの人からいろいろな場で「優しい人」と言われると、自分の良さを確信することができ、自尊感情が高まります。まずは周りの人から、このようにほめてみませんか。